

## 事業報告書

日 時	令和4年8月20日(土) 10:00~12:00
目 的	親がこどもに対して身体や性についての伝え方や向き合い方が分からないなどの不安を抱えている方が顕在化している。また、SNS やインターネット等で誤った情報を得る大人、特にこどもが多く、正しい情報が届きにくい。今回の講座は、こどもが生まれるまでの追体験などを通して性(生)について学び親子のコミュニケーションに役立てることを目的とする。
対 象	幼児4歳~9歳までのこども、保護者
主 催	公益財団法人おきなわ女性財団
講 師	一般社団法人ある
会 場	自治研修所4階 研修室1・2
定 員	15組30名程度(申込者数:12組31名)
参 加 者	10組27名(大人13名、子ども14名)
講演内容(概要)	<p>講師は、2人のこどものイラストを見せ、「どちらが男女と思う？」と質問し、こどもは「ピンクの服を着ているから女!」「青い服を着ているから男と思う」と回答。その後、性器で男女の違いがわかるのでイラストのパンツの中を見てみよう!と答え合わせを行い、「大人の影響で、服の色や髪の長さで性別を判断しているかもしれないが、自分が好きな色の服を着たり、髪が長くても短くても、化粧したいかどうか、どの性を生きるかなどはみんなそれぞれ違っていい」と説明した。</p> <p>パンツの中で隠れている部分、胸、口もプライベートゾーンで私だけの大事な場所。他の人に見せたり、触らせたり、写真を撮らせてはだめ。嫌な触られ方(例えば、こちょこちょなど)をされたら「やめて」と言ってもいい、怖くて言えないときは知らないふりをして逃げたり、走って逃げたり、攻撃して逃げてもいい、怖くて逃げられないときもあるが、あなたが悪いわけではないと説明した。</p> <p>その後、講師はイラストやエプロンなどを使用しながら男女の性器の説明、人形を使って子宮の中での成長の説明、精子に見立てたボールを投げてキャッチする体験、毛布を使用して子宮の中のゆりかご体験やトンネル体験、絵本の読み聞かせを行った。最後に、おとなとこどもで分かれて「おとなのシェアタイム」を行い、本日の講座の感想や疑問・悩みなどを講師と参加者で共有した。</p> <p>★ 講座風景 ★</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>《2人のこどもイラスト》 《ボール(精子)キャッチ体験》 《トンネル体験》</p>
参加者の声	<p>(自由記載欄より抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型の講座で、親から子へ伝えるよりス〜っと入ってこれたのかと思いました。親だけの話しの時間もあり、よかったです。</li> <li>・赤ちゃんが生まれてくる所を体験できたり、お人形や模型で分かりやすく説明してくださって、子どもにもわかりやすくて、とてもよかったです。</li> <li>・性についてあまり伝えられていなかったのが、今日の講座がとてもわかりやすくて、勉強になりました。名称をはぐらかすのではなく、ちゃんとした名前伝えて、プライベートゾーンを大切にすることを教えていきます。</li> <li>・最後、子どもを見てくれて、親だけで悩みを相談できるのがとてもよかったです。他の家族の悩みを聞けたり、アドバイスを聞けてとても良い時間になりました。</li> <li>・トンネル体験など、こどもが参加できるのがあって良かった。今日の感想を子どもにも聞いてみたい。</li> </ul>